

## TOWISE Ver.6.0.1.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	内容
システム全般	一覧確認	ポップアップから行えるレイヤ名の変更で、一覧確認画面に表示されていないレイヤがあるとき、入力したレイヤ名が変更対象とは別のレイヤ名になることがあった件を改善しました。
システム全般	マウス操作	Windows7環境で、CADコマンド等を終了した直後にマウスホイールでの拡大縮小が利用できない場合があった件を改善しました。
システム全般	リボン	リボンのユーザ設定で、一部のコマンドが追加できない場合があった件を改善しました。
TOWISE CAD	製図基準図面チェック	GUIDERバンドルPCのWindows10モデル採用に伴う画面調整を行いました。
TOWISE CAD	地理院地図関係	GUIDER ZEROの地理院地図関連機能で表示される「地理院地図のご使用について」が適切なタイミングで行われなかった件を改善しました。
TOWISE CAD	点パーツ登録	GUIDERバンドルPCのWindows10モデル採用に伴う画面調整を行いました。
TOWISE BASIC GATE	GUIDER ZEROデータのエクスポート	「GUIDER ZEROデータのエクスポート」を改良し、「GUIDER ZERO Ver1.1.5.0」で読み込み可能なGUIDER ZERO図面ファイル（NTG）を作成できるようにしました。GUIDER ZERO Ver1.1.5.0より前のバージョンでは読み込めませんのでご注意ください。
TOWISE BASIC GATE	リボン	「TOWISE DM編集オプション」のライセンスを保有していない環境のとき、「DM図郭編集」がリボンに表示されなかった件を改善しました。「TOWISE 測量CAD」のライセンス保有で表示します。
現況CAD	現況展開設定	GUIDERバンドルPCのWindows10モデル採用に伴う画面調整を行いました。
現況CAD	標高断面作図	GUIDERバンドルPCのWindows10モデル採用に伴う画面調整を行いました。
測量計算	計算書作成	Ver.6で座標面積計算／三斜面積計算／合計面積計算書の各帳票について、「地番セル」を常に地番名称が出力されるように「パート名」に変更する改良を行いました。従来の出力もできる再改良を行い、計算書表記条件に「地番の表記方法」を追加しました。帳票に出力されていた地番はこれまで「点名の表記方法」に依存していましたが、「NO、名称、NO(名称)、点名の表記方法に従う」から専用に指定できるようになりました。提供時初期値は従来通りの出力となる「点名の表記方法に従う」になっています。
水準網平均計算	水準網平均計算	「水準網平均計算、全線の1km当たりの標準偏差、様式第1-3 水準測量精度管理表、観測者毎の1km当たりの標準偏差」帳票の正負零の数記載が不整合になる場合があった件を改善しました。成果値には影響のない調整です。
路線測量	中心線	成果作成(線形図)でクロスリットが作図されたとき、進行方向に対して左右の広がり逆になる場合があった件を改善しました。
GNSS スタティック基準点	アンテナ位相特性データ設定	「製造者」が空欄になるアンテナがある件、及びTBC-JSLのインポート後に開く「受信機未処理データチェックイン」でそのアンテナのメーカー名が「不明」になる件を改善しました。
GNSS スタティック基準点	作業管理	条件設定において、基準点-精度管理 > 精度管理表の 点検測量 水平( $\Delta N, \Delta E$ )及び高さ( $\Delta U$ )の最小値が1mmだったのを0mmに改善しました。結果、0を指定することで精度管理表帳票の許容範囲を非表記にします。
GNSS RTK基準点 GNSS スタティック基準点 GNSS 地形応用	作業フローなど	作業フローから「GNSS観測手簿,GNSS観測記簿,仮定網平均計算,実用網平均計算」の新規パート作成時、情報が自動セットされなかった件を改善しました。また、一部コマンドで、シート上スイッチ（出力チェックなど）をポップアップから切替できなかった件も改善しました。
GUIDER ZERO基本機能	軌跡表示	軌跡表示でWindows10のPC位置情報が正しく取得できなかった件を改善しました。(FZ-G1R3001VJ)
GZ-MAX	図面座標変換	GUIDERバンドルPCのWindows10モデル採用に伴う画面調整を行いました。